

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>経営理念「安心と尊厳のある生活を営むことの支援」ケア理念「共に喜び 共に楽しみ 共に笑って 共に過ごす」をもとに、送り時読み上げスタッフが理念の徹底を試みている。</p>	<p>○</p> <p>スタッフが意識を持ち業務できるよう周知継続していきたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>送り時職員で経営理念・ケア理念の復唱し、心がけている。</p>	<p>○</p> <p>職員の意識の向上と理念をおいてのケアを継続していきたい。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>目につく所に提示しているが直接伝えている事はしていない。</p>	<p>○</p> <p>催し物等での地域への理解活動等を行う。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>挨拶はもとより、地域の方から野菜を頂いたり、散歩の時に立ち話をしたり、洗濯物のしまい忘れ時、また離施時の連絡等して、付き合いをいただいている。</p>	<p>○</p> <p>左記内容継続。地域に出かける機会を増やし交流をはかれるように今後もしていきたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>本陣まつりには、地域の方、地元のボランティア、保育園等隣近所の人もふくめ参加していただいている。地元のまつりにも参加している。</p>	<p>○</p> <p>地域住民の方と様々な活動に参加できるよう積極的に活動への参加を行う。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	随時TEL近所の方の相談にのっているが直接何かをしているわけではない。	○	自治会への参加の検討が必要である。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価する前に施設長より話をしてもらい理解している。日々の生活の中でそのつど改善策は見つけ考えている。	○	スタッフ全体で自己評価を共有、対応策等考え日々のケアにつながるように努めていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	12月13日に第1回目の運営推進会議を予定している。	○	2ヶ月に1回開催する地域運営推進会議を、きちんと職員への報告をし、貴重な声として大切にしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者、責任者がそのつど電話連絡や、足を運び連携をとるようにしている。	○	左記内容継続とともに、行政とのつながりを今後たいせつにしていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	一部の職員しか学んでおらず、職員への徹底が必要である。	○	勉強会を企画し、職員全体で必要。研修等にも積極的に参加していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会を設けており、現在思案中であり、勉強会を立案中である。	○	勉強会を通して、言葉の拘束、身体的拘束とさまざまな部分での拘束に関して勉強会を開催し、日々のケアへつなげていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を設け、重要事項説明書にもとづき、納得した上で入所していただいている。解約は現在はなし。	○ 継続的に理解、納得していただけるようにしていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族、利用者の方は直接スタッフ、管理者へ言われているが、意見交換しやすい雰囲気作りをきちんとしていくように試みる。	○ そのつど、管理者、職員へ家族または本人からの意見、不満等は言われているが言いやすい雰囲気作り等信頼関係を大切にしていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時はできる限り日常生活、服薬変更等は報告はしている。期間を決めての報告はしていない。金銭管理については3か月に1回家族への出納帳の写しの送付と領収書をあわせて見せている。	○ 今後通信等定期的な報告もしていきたいと思う。現在検討している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情申し立て機関を出雲市介護保険課管理係・国民健康保険団体連合会を設けている。また、家族様からそのつど、電話、口頭で言っただけ。	○ 苦情、意見を大切にしていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に対する意識は少ないが、地域へのアピールをし利用を増やす協力等は行っている。	○ スタッフからの意見もきちんと受け入れ考えていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	限られた人数で、日中多めに配置し、外出等に合わせ人数調節を行っている。	○ 利用者の状態、受診、活動に応じての配置を行い、日々のケアにつとめていきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事異動は必要最小限とし、なじみの職員での関係作りを中心に、配慮している。	○ スタッフ個々のレベルに合わせてのレベルアップ、またユニット全体のケアの質のレベルアップが必要である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>計画として文章には表していないが、研修への参加は出来る限り参加している。ホーム内研修は現在委員会を設けており、思案中である。12月に第1回のホーム内研修を企画中である。</p>	○	企画中であるが、1ヶ月1回のホーム内研修の実施の徹底をしていく。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出雲地域である1回/月ある勉強会に職員も参加するなどし、情報交換などを通じて職員の質の向上につながるよう、目指している。他事行書との電話連絡や行き来を通じて情報交換をするようにしている。</p>	○	出来るだけ多くのスタッフが参加できるようにスタッフも積極的に勉強会、研修への参加を継続していきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員レクリエーションの実施。飲み会等も設けている。日々の業務の中でもそのつど言える雰囲気勤めている。また、職員からの意見は大切に必要に応じては検討会を設け職員の仕事のしやすい雰囲気づくりに心掛けている。</p>	○	今後も職員と、積極的に交流を図り、ストレスへの軽減に努めていきたい。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>経営理念・ケア理念をきちんと確認し、共有した上で職員への見守り、必要に応じては指導している。</p>	○	スタッフが働きやすい環境づくりに努め、研修等も本人の希望を聞き入れながら受講できるようにしていきたい。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前調査を行い、本人、家族、他利用機関に話をきき、事前にホームを見てから決定していただいている。</p>	○	入所前の事前調査等貴重な場での聞き取りを大切にしていきたい。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前調査を行い、本人、家族、他利用機関に話をきき、事前にホームを見てから決定していただいている。本人の思い、家族の思いを聞きとりケアにつとめるようにしている。</p>	○	家族の面会時出来る限りで日常生活の報告はするように、家族の訴え、本人の気持ち等含め話す機会は今後も大切にしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じて、他施設の紹介をしたりと、サービスの情報提供をし対応をしている。	○	地域の方、近隣の方からの相談等も今後も継続していきたい。本人を含め家族の状況等もふまえての支援に努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に一度見てもらえる方にはきちんと見てもらっている。本人に納得してから、選んで入所してもらっている。居室にはなじみの生活用品等はおき、今までの生活スタイルを出来る限り崩さないように配慮している。	○	本人にとって生活しやすい環境を整え、安心して暮らせるような雰囲気を提供できるように配慮していくように努力する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の調理方、味付け方又、畑のことなど時には一緒に、学んでいる。利用者と共に感情表現している。	○	ケア理念をもとに共に生活させていただく中での関係作りを継続していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方からの訴えに対して、きちんと向かい合い話をしていく。面会に来てもらえるよう声かけをしている。	○	本人を共に支えていけるよう、ケアする一員として支援していくように一緒に行っていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	理解は入所前にきちんとしており、入所後少しづつではあるが家族理解につとめるよう心掛けている。	○	関わりながら関係作りをしていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅に帰ったり、友人に来てもらったりしている。手紙、はがきのやり取りもしてもらっている。	○	今までのつながりを大切に、関係が継続できるよう面会時間の決まりもなく自由に行き来できる大勢を維持していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	席の配慮も時には行い、利用者同士での関わり、助け合いも日々の生活の中である。	○	その人らしい生活ができるよう見守り、ケアしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在退所例がない。	○	そのつどの状況にあわせて考えていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを作成する時には本人にまず話をきいてから作成して思いをくんでいる。	○	アセスメントの徹底の中で、その人らしい生き方を重視し本人の望む生活スタイルを一緒に行えるようにしえんしていきたい。本人の希望に出来る限り沿ったケアの取り組みに努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査で行っている。日々の生活の中でもどんどん聞き取りをしている。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	おおよそ把握しているが、できる事、出来ない事をきちんと分かりケアへのつながりが足りない。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、担当者(居担)、家族へ話を聞いた上でのプラン作成をしている。	○	家族様との話し合いや意見交換を密にし、本人を中心とし、また家族の意見、要望も話せる機会を設けいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しはしているが、きちんと期間に応じて行えていない。	○	期間に応じてモニタリングを行い、状況に応じて変更をしながら見直しを行う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	フォーカスを利用して記録を残し、プラン作成時にはそれをもとに作成するよう心掛けている。時々、記録がおろそかになるため徹底していかなければいけない。	○	記録の徹底。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自由に外出、外泊もできるようにしている。食事も病歴、日々の状態に合わせて食事もそれぞれ違うこともある。朝食時パン食の方もおられたり、いままでの生活習慣と同じように試みている。	○	左記内容継続。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練や警察の方の見回り、ボランティアの方が、気軽に来て頂ける体制をしている。	○	左記内容継続。地域の方からの見守り体制を大切にしながら支援できていけたらと思っている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	いろいろな研修に参加したり、他の事業所との意見交換、また、現場実習したり、来ていただいている。福祉用具関係についても定期的な福祉用具の点検等行っていただき支援している。	○	関係を大切にし、橋梁体制が得られるように大切にしていきたい。また、ケアへつながるよう支援していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの話し合いはしていない。	○	情報交換を大切にし、必要に応じては直接話し合いをしていく機会を設けていく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療提携機関と提携しており必要に応じて適切な医療を受けている。相談員の方との情報交換をし、大切にしている。	○	家族への状態報告もこまめに行うようにしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>特定の認知症の専門医はいないが、必要に応じて地元の主治医から紹介をしていただき、受診をしている。また、地元の精神科医にも必要に応じて受診、相談している。</p>	<p>○</p> <p>左記内容継続とともに、専門医への相談もできる体制作りを心がけていく。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>グループホームに看護職員はいないが、小規模、認知デイにいますので随時、相談をしている。</p>	<p>○</p> <p>スタッフの日々の観察と、勉強会の実施も今後検討していく必要がある。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>医療機関と提携を結んでおり、すみやかに入院が出来るように情報交換を行っている。</p>	<p>○</p> <p>相談員を中心とした情報交換を継続、維持し医療機関との連携を大切にしていきたいと考えている。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期ケアは行う方向で考えている。重度化された方がおられないため、つめた話はまだ行っていない。</p>	<p>○</p> <p>今後ユニット全体での学び、考えていく項目にしたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>できること、できないことの把握が足りていない。</p>	<p>○</p> <p>主治医と今後対策も考えていかなければならない。できる事、できない事の把握。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>現在移動はない。</p>	<p>○</p> <p>本人の希望を汲み取り、戸惑い、混乱、不安等最小限にできるよう努めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等は外部に目に付かない場所に保管してある。記録の際に記録場所の徹底ができていないため、徹底の必要がある。	○ 記録場所、保管場所の徹底に努めていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望時には個別での外出に、できるだけ本人の希望を聞き入れ、ドライブ等外出に出かけている。ほとんどが少人数か希望者のみでの外出を心掛けている。	○ 左記内容継続。一人一人の自己決定の尊重を大切にし継続していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活に対して、業務の流れ等はないが、職員の都合を優先してしまい、その日をどのように過ごしたいのか希望にそえていないこともある。	○ その日をどのように過ごしたいか聞き、希望にそって支援していくよう努めていきたい。一日一日本人がやりがい、生きがいをもって生活が出来るよう支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の好みにあった服、着たい服と一緒に選んでいる。なじみの関係となった地域の理容・美容店に行っている。また化粧される方もおり、外出時など化粧をされる方もいる。	○ 個々に合わせた身だしなみをスタッフも心掛けていくようにする。それぞれの個性を大切にしてケアしていく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立、買出し、調理、盛り付け等利用者と職員ができる範囲内で一緒に準備や食事、片付けをしている。	○ 出来る人、得意な方を中心に参加される方は一緒に行い、本人の気持ちを引き出すような声をしながら行うように努める。自発的に参加してもらうことを待つ距離をおいての見守りのケアも行っていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人に選ぶことができるよう、基本的には何でも好きなものを出している。また、自分の好きなおやつ等を買われ好きなものを食べられている。自分の好きな物も、近隣の商店へ買い物へでかける。現在は、酒、タバコ等はないが、自由にできる場所がある。	○ 左記内容継続。その人の今までの生活スタイルをたいせつにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンの把握をチェックシート活用にて必要な方に関しては行っている。オムツはずしも現在一人支援中であり、ケアをしている。	○	排泄自立までは時間がかかるが、一人一人ゆっくりと本人の気持ち、プライバシーも配慮しながら排泄介助し、実現に向けていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の訴えあればそのつどいつでも入浴できるように支援している。また、機械浴の方もおり、随時いつでも入浴できる体制にしている。	○	左記内容継続し、本人の希望に沿っていつでも入浴ができるようにしていく。また、プライバシーに配慮しながらリラックスできるよう努めていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々のスタイルに合わせて自由に休憩しておられる。居室、ソファー、和室等自由な場所も確保している。	○	居室には使い慣れた家具、自分の置きたいものを自由に配置しており、また居室は畳、ベッドと本人の状態に合わせて配置をしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を活かし、畑作業や台所での仕事等、本人に合わせて支援している。趣味、得意なことを活かし発揮できる雰囲気づくりに努めている。	○	現在出来ることの中で、今までの趣味を交えて、今後も継続していきたい。本人に無理なくできるよう支援していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方はお金を所持し、職員と共に買い物に出掛けている。	○	左記内容継続。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近道を散歩し近所の方と話したり、商店へ行きお茶をしたり、ドライブ等に出掛けている。	○	自由に出かけられるよう出来る限り本人の希望に沿うように支援していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日々の生活の中で家族と自由に外出してもらっている。また、一泊旅行も企画している。	○	個々で外出を大切に個別ケアに努めていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族等に電話したいという訴えがある場合、電話の所へ案内し、番号がわかる場合本人にボタンをおし、かけてもらっている。自由に自分でかけられる方もおられる。また、手紙のやり取りをしておられる方もおられる。	○	なじみの関係を保てるよう、配慮していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入りやすい雰囲気作りに心掛けており、来られた際のささやかな気配りを行っている。また、玄関も民家と似た雰囲気になるよう、花、庭園等も受けている。季節に応じては季節に合った干し柿、干し大根等季節感ができるようにもしている。	○	左記内容継続。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を理解できていない。	○	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し、ケアに取り組んでいく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間に関しては、外部からの危険防止のため施錠している。日中玄関に鍵はかけておらず、居室に鍵はつけていない。	○	安全面に配慮し、見守りをしていく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入室の際はノックを心がけ夜間は個々の状態に応じての巡回を徹底している。	○	プライバシーに配慮していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物は夜間管理ボックスを作り、薬は管理ボックスを作り管理を行っている。	○	薬は夜間は必ず事務所奥の部屋で管理しており、刃物はボックスへ入れて管理しているが、脱衣所の洗剤に関して目隠しはしているもリスクがあると感じる為検討項目にした。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救命救急法の取得及び、避難訓練を実施しており、緊急連絡網も徹底している。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命法を受けている。	○	繰り返し救命放蕩まなんでいくように企画したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行っている。ホーム内では行っているが、地域内には伝えていない。	○	地域への協力体制を行う必要がある。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所前にきちんと話をしており包丁を使うことなどリスクがあることを説明している。	○	其のつどきちんと家族理解をえるように話す時間を設けていきたい。リスクに対しての自由がなくならないよう配慮にも試みるようにする。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の体調変化はスタッフ同士きちんとみており、管理者、施設長への連絡を行っている。病歴、既往歴の把握の徹底、服薬の把握もきちんとスタッフ間で徹底したい。	○	一人一人の状況の把握を徹底していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に薬の説明書を綴っている。変更がある際には、スタッフ同士連絡しあっている。	○	確認はしているも把握しきれていない。また、急変時必要な際には個人ファイルを確認するよう的確な対応に努めていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜は温野菜にするようにしている。また、便秘時には、医師に相談し薬の調節をしている	○	生活の中での運動も取り入れて体調管理を行うように努める。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後には声かけし行っている。	○	左記内容継続。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な人、必要な状況に応じて個人記録に残している。また、朝食時にはパン食の人もおられ食べたい物を食べてもらっている。また糖尿食、きざみ食、ミキサー食等も行っている。	○	その日の状態に応じて、随時対応している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し確認しているが把握しきれていない。主治医、家族と相談し予防・対策を行っている。	○	マニュアルの見直しをかけてスタッフの把握に努めていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	前日および当日に買い物に行っている。また、手洗いの施行には気をつけている。市からの食中毒警報が出た際にはきちんと回覧している。	○	日々気をつけており、意識を持つようにしていく。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭らしい玄関にしており、花・木・庭石等あり、気軽に入れる雰囲気になっている。季節感にあった、干し柿、干し大根等も一緒に作ったりしている。	○	必要最低限の雰囲気をだし、障害物とならないように配慮し、努めていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	電球の色は柔らかい色を使用している。五感を生かせるよう台所もホールに面しており、利用者の方も自由に出入りし生活できているが職員の会話の音が大きい時もある。	○	職員の会話のトーンを利用者に合わせていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、木のイス、和室もあり自由に過ごせる空間がある。	○	昔の雰囲気がある建物である為、自然と雰囲気は出ている。雰囲気に合ったものを配置するように心掛けていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談し、使い慣れたものを部屋に置く等工夫している。	○	左記内容継続。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	臭いが気になる場合は換気し、温度は適度に調節している。	○	換気に配慮している。また、各居室には家族が自由に消臭剤等置かれている部屋もある。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に行動できるよう、障害を取り除き環境整備を行っている。また、キッチンの棚は使いやすいよう高さを下げている。また、自由にキッチンに入れるようしている。	○	本人が自由に皿洗い等できる環境作り、整備に心がけていく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	できること、できないことの見極めが足りない部分がある。ケアの中では混乱をまねかないようできるだけ自分でしてもらうように気配りをしている。	○	アセスメントの中で、きちんとできること、できないことの把握をしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭の木には物干し竿をかけたり、のきたには干し柿をつるしたりしている。また、庭にはゲートボール場を設けており、地域の方にも活用してもらえるようにしている。裏には畑があり季節の野菜を育て収穫している。うこっけいなど鳥がおり、卵をとり食事に使っている。	○	左記継続。自然あふれた環境での生活をしていきたい。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている <small>運営推進会議をまだ行っていない</small>
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)